

交流学習

■場所： 室戸市羽根岬

■日時： 2005年7月1日(金)9:00～14:00

■考察

- ・現地における事前計画がなかった。
- ・潮位(小潮、90cm→130cm)
- ・活動範囲
 - ・中央が推奨。→実施
 - ・西は深い。
 - ・東は潮溜まりが多く、生物も多種。
- ・今年の台風の影響で、磯がガラリと変化していた。
- ・磯への昇降口が分かりづらかった。
- ・他の磯の利用調査を行ってみたい。
- ・目的の交流が深まったとは見えなかった。
→加領郷小の児童が事前に調査して、穴場を教えるという企画が考えられる。
- ・ブルーシートを活用した大型テントは、よかった。
- ・路線バスは、加領郷降車の方が近かったと思う。

■危険ポイント

- ・児童が危険だということが事前に認識できていなかった。
- ・危険ポイントが多くて、配置人員が足りなかった。
- ・大きな石・岩は、コケも生えていて滑りやすい。→小さい石を踏みしめる。
- ・ガンガゼ、ウニに注意する必要がある。

■遊びの種類

- ・海水浴(波と戯れ、シュノーケリング)
- ・生物の採取(カサガイ、ヒザラガイ、ヤドカリ、ウニ、カニなど)
- ・潮溜まりでの生物の観察・採取を期待したが、暖かいので温泉化した。△
- ・貝殻拾い

■感想

- ・最初は晴れていたが、途中から小雨になった。→継続できるレベルであった。
- ・黒くて平たい石が、どうして多いのと質問する児童がいた。○
- ・児童たちにとって磯は初めてということもあって、先生と遊ぶという感じが強かった。
- ・陸上の植物にも興味を持ってほしかった。ヤシ、ソテツ、ハマユウは児童にとって当たり前かな？
- ・フナムシ、カサガイ、ヤドカリも知らない児童が多かった。×

■生物

- ・貝および貝殻
 - ・カサガイ類
 - ・サザエ類
 - ・イガイ類
 - ・ヤドカリ類
 - ・アマオフネガイ
 - ・ヒザラガイ
 - ・クマノコガイ
 - ・フトコロガイ
 - ・メクラガイ
 - ・クボガイ
 - ・イシダタミガイ
 - ・ウラウズガイ
 - ・カブラガイ
 - ・ナツモモガイ
 - ・バイ類
 - ・タカラガイ類
 - ・トコブシ(当日は見当たらなかった・・・人が採ってしまうのだろう。)
- ・ウニ類
 - ・ムラサキウニ
 - ・ツマジロナガウニ
 - ・コシダカウニ
 - ・ガンガゼ
- ・魚類
 - ・カエルウオ
 - ・ベラ類
 - ・ハゼ類
- ・節足動物
 - ・フナムシ
 - ・エビ類
 - ・カニ類
 - ・カメノテ
 - ・フジツボ
- ・イソギンチャク
- ・サンゴ類
 - ・ミドリイシ類
 - ・キクメイシ類
- ・海藻
 - ・イソハンモン(滑る要因)

- ・ミル類
- ・ホンダワラ類
- ・ウミウチワ類
- ・テングサ類
- ・ガラガラ類

以上